

「合宿の里士別」ステップアッププラン〔進捗状況〕

(1) スポーツ施設の整備・充実

「ステップ1・2」実施した主な取り組み(2014～2017年)

- 低酸素トレーニングシステムの導入⇒**実施済**
- 陸上競技場の用具整備⇒**実施済**
(ハードル、高跳び・棒高跳び関連用具等)
- 朝日三望台シャンツェの整備⇒**実施済**
(雪面ゲージ・ラディングパース転倒防護板等)
- ウエイトリフティング場の整備⇒**実施済**
(サブアリーナ改修)
- グリーンスポーツランニングコースのパーゴラ設置⇒**実施済**
- 南士別ランニングコース距離表示看板の更新⇒**実施済**
- 林道ランニングコースの整備⇒**実施済**
(コース選定・距離表示看板作成)
- 陸上競技場の改修(3～8コース)⇒**実施済**
- 日向スキー場第一リフト更新⇒**実施済**
- 南郷プール・朝日農業者トレーニングセンターの補修⇒**一部実施**
- パラリンピック対応施設の整備⇒**実施済⇒一部実施**
(朝日トレーニングセンタートイレ改修)



「ステップ3」見直し計画(2018～2020)

- ① グリーンスポーツランニングコースの改修
【**実施済**】⇒1.5km コース改修(2ヵ年:2017、2018)
- ② 南士別ランニングコースの整備(早期復旧)
【**実施中**】⇒西南連絡線復旧工事(2019年1月完成予定)
- ③ 陸上競技場の用具整備(3000m障害用具、写真判定器)
【**一部実施**】⇒3000m 障害用具整備(toto 助成活用)
- ④ ふどう野球場スコアボードの改修
【**実施中**】⇒チーム名、得点LED表示(2018年11月完成予定)
- ⑤ レスリングマットの購入
- ⑥ 朝日農業者トレーニングセンターの改修
(外壁補修、屋上防水、アリーナ床張替)
【**一部実施**】⇒屋上防水塗装
- ⑦ 三望台シャンツェの改修(送水管、アウトラン改修)

《取り組みの効果》

老朽した施設の改修などにより、安全・安心なトレーニング環境などを提供することができ、合宿者の定着につながるものとする。

(2) 宿泊施設の整備・充実

「ステップ1・2」実施した主な取り組み（2014～2017年）

- スポーツ合宿センターの改修⇒**実施済**
（玄関、ボイラー、wi-fi、照明器具など）
- パラリンピアン対応宿泊施設の整備⇒**実施済**
（土別 inn 翠月バリアフリールーム整備）
- リオデジャネイロオリンピック直前合宿の宿泊受入⇒**実施済**
（塩尻和也選手〈陸上競技〉、田山寛豪選手〈トライアスロン〉）
- 地元食材を活用した「食」の提供⇒**一部実施**
（合宿メニュー開発中〈15品〉）
- 新たな合宿受入旅館の要請⇒**一部実施**
- 民間企業によるホテル建設の要請⇒**一部実施**
- 宿泊に関する近隣市町村との連携⇒**一部実施**
- 合宿対応宿泊施設改修などへの新たな助成制度の検討⇒**検討中**



「ステップ3」見直し計画（2018～2020）

- ① これまで開発してきたアスリート食事メニューの活用・拡大
【実施済】⇒土別旅館業組合で「合宿メニュー講習会」を実施し、各宿泊先での開発メニューの活用を図った。
- ② 地元食材やGAP食材の活用促進
【実施済】⇒「食王国・北海道レセプション2018(東京)」で地元GAP食材を活用した料理を提供
- ③ 朝日地域交流センターの環境整備

《取り組みの効果》

地元GAP食材のPRやアスリート食事メニューの提供により、食の安全をはじめ、本市の魅力が発信され、合宿者の定着につながるものとする。

(3) 市民交流と歓迎体制の充実

「ステップ1・2」実施した主な取り組み（2014～2017年）

- 歓迎のぼりの増設⇒**実施済**
- 合宿専用車両の導入・貸出（コムス）⇒**実施済**
- オリンピックデーランや各種スポーツ教室の開催による市民交流⇒**実施済**
- リオディジャネイロオリンピック直前合宿での歓迎・交流の取り組み（陸上競技・トライアスロン）⇒**実施済**
- 公共施設等の案内標識の外国語表記⇒**実施済**
- 合宿がもたらす意義や効果などの広報活動⇒**実施済**
- 市民による合宿選手への声かけ推進⇒**一部実施**
- おもてなしの心を込めた「歓迎会」の開催⇒**一部実施**
- オリンピックなどをめざす地元選手の育成のための環境づくり⇒**一部実施**
- 海外チームの合宿受入態勢の構築⇒**一部実施**
- メディカルチェックや受診体制の充実⇒**一部実施**
- 民間診療施設等との連携⇒**検討中**
- 歓迎看板の増設⇒**検討中**



「ステップ3」見直し計画（2018～2020）

- ① 学校給食でのアスリート食事メニューの提供
【**実施済**】⇒「ふるさと給食」と合わせて提供
- ② 市民へのアスリート食事メニューの提供
【**一部着手**】⇒「市HP」による「アスリート食事レシピ」の紹介
- ③ 合宿選手やオリンピックなどとの「ふれあいの場」や「スポーツ教室」の拡充
【**実施済**】⇒各小学校の授業に高平慎士氏を招き、能力開発事業を実施
- ④ 世界で活躍する選手への応援活動（激励メッセージ）

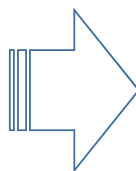
《取り組みの効果》

子どもたちへの食やトップアスリートの指導を通じ、本市の魅力を感じながら、健康で心豊かな成長につながるものとする。

(4) スポーツイベントの充実

「ステップ1・2」実施した主な取り組み（2014～2017年）

- トップアスリートへの大会参加要請⇒**実施済**
- 大会参加者の増加やイメージアップのための積極的なPR活動⇒**実施済**
- ママさんアスリートへの乳幼児一時保育サポート⇒**実施済**
- 地域イベントでの合宿選手との交流⇒**実施済**
- ホームページ・フェイスブック等を活用した情報発信⇒**実施済**
- 第30回土別ハーフマラソン記念大会の開催⇒**実施済**
- 第20回全日本ジュニア&レディースマラソン記念大会の開催⇒**実施済**
- 全日本マスターズウエイトリフティング大会の開催⇒**実施済**
- 日韓友好ウエイトリフティング競技大会の開催⇒**実施済**
- オリンピック・パラリンピックフラッグツアーの開催⇒**実施済**
- 市民による各種イベントの
応援の拡大⇒**実施済**
- 各種の全日本・全道大会の招致活動⇒**一部実施**
- スキージャンプ、ウエイトリフティング等の全国大会の招致活動⇒**一部実施**
- 農業・商業・工業との連携による特産品PR⇒**一部実施**
- 市民ボランティアの拡大⇒**一部実施**
- トライアスロン大会（冬季含む）の招致検討⇒**検討中**
- 土別ハーフマラソン大会の新公認コース検討⇒**検討中**



「ステップ3」見直し計画（2018～2020）

- ① 東京オリンピック・パラリンピック応援事業（直前合宿壮行イベント）
- ② 東京オリンピック・パラリンピック応援事業（パブリックビューイングほか）
- ③ 各種スポーツイベントの充実

【実施済】

- * ハーフマラソン大会⇒2km・5kmのコース変更をはじめ、地元産トマトジュースの提供や出店ブースでの商品券、スペシャルゲストを招くなど、魅力ある大会づくりを進めた。
- * オリンピックデーラン⇒地元枠として、小塚崇彦アンバサダーを招き、魅力あるイベントづくりを進めた。

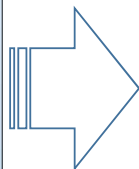
《取り組みの効果》

本市ならではの大会づくりに努め、本市の魅力発信と交流人口の増加につながった。

(5) 人とのつながりによる招致活動の推進

「ステップ1・2」実施した主な取り組み（2014～2017年）

- 各種全国大会・全道大会での招致活動⇒実施済
- スポーツ庁や日本オリンピック委員会、中央競技団体等との連携強化⇒実施済
- 招致パンフレット等の作成⇒実施済
- 道内陸上大会での新たな招致活動⇒実施済
- リオディジャネイロオリンピック直前合宿の招致活動⇒実施済
- リオディジャネイロパラリンピック直前合宿の招致活動⇒実施済
- 海外向けパンフレット・招致グッズ作成⇒実施済
- 海外チームの招致活動⇒実施済
- ふるさと大使との連携による招致活動⇒実施済
- ホームページ・フェイスブック等を活用した情報発信⇒実施済
- 他自治体合宿地との連携強化⇒実施済
- 招致活動と連動した特産品PR⇒一部実施



「ステップ3」見直し計画（2018～2020）

- ① トレーニング環境施設マップの作成
【一部着手】
「市HP」「LINE」「フェイスブック」による施設の情報発信
※「LINE」「フェイスブック」は、自動応答による施設活用
- ② 東京オリンピック・パラリンピックの市民機運の醸成（グッズ作成など）
- ③ 東京オリンピック・パラリンピック応援事業（応援ツアーなど）
- ④ ホストタウン交流事業協定に基づくウエイトリフティング交流
【検討中】⇒士別ウエイトリフティング少年団の台湾派遣
(2019年1月予定)

《取り組みの効果》

SNSを活用し、容易に施設情報が把握できる環境を整えたことから、合宿者の定着につながるものとする。